

平成28年度施策評価調書

整理番号	6
評価担当課	保健センター
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	母子保健事業の推進(2-1-2)		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	主要施策	1	健康の保持増進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	子どもの健やかな発達・発育を支援するとともに、子育て情報の提供、各教室・相談の実施、親同士の交流の場を設けるなど、虐待防止も含めた母子保健の充実を図る。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	妊婦一般健康診査助成、こんにちは赤ちゃん事業、乳幼児健診、お父さんお母さん教室、赤ちゃん計測、もぐもぐ離乳食教室、のびのび親子教室、ちびっこひろば、親子ふれあいひろば
施策の課題	平成27年度名寄市の出生数は233人(名寄地区212人、風連地区21人)と前年度238人と比べほぼ横ばいであるが、平成27年度の母子健康手帳は210件で減少傾向にある。名寄地区の地域的な特徴として転勤者が多く、母子健康手帳交付時の転勤者の割合が約5割を占め、子育てに関する相談相手がいないなど育児が孤立化しやすい状況にあり、母子保健事業のあらゆる機会を通して早期から適切な支援が必要である。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
こんにちは赤ちゃん事業	実施率	目標値	100	100	100	100
		実績値	100	100	100	
		進捗率	100%	100%	100%	
4か月児健診	受診率	目標値	100	100	100	100
		実績値	99	98	99	
		進捗率	99%	98%	99%	
3歳児健診	受診率	目標値	100	100	100	100
		実績値	97	96	99	
		進捗率	97%	96%	99%	
ちびっこひろば	参加延人数	目標値	320	320	320	320
		実績値	260	219	312	
		進捗率	81%	68%	98%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	こんにちは赤ちゃん訪問では対象家庭全てに訪問し、支援することができている。4か月児健診では、未受診者に対する家庭訪問を、3歳児健診では保育所や幼稚園への訪問などきめ細かい対応により発育発達の確認ができていることから順調と判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

妊娠期から切れ目ない母児の健康保持増進に努め、地域、子育て支援センター、保育所、幼稚園、医療機関等との連携を強化し、支援が必要な家庭には早期から適切な支援に結び付けていけるよう努める。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	母子健康支援事業	各乳幼児健診・教室・相談および家庭訪問の実施など	27,833	a	a	a	a	a	A	A	A
2	親子教室(ちびっこひろば・親子ふれあいひろば)	各ひろばを開催し、親の育児不安の緩和や仲間づくりの機会を作る。	2,763	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	6	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	健康福祉部保健センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	母子健康支援事業			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	1	健康の保持増進
		基本事業	2	母子保健事業の推進
		実施計画事業	1	母子健康支援の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	安心して妊娠・出産・子育てが行えるように、児の健やかな発育・発達を促す			
対象(何を又は誰を)	妊産婦・新生児・乳幼児とその家族			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	妊婦一般健康診査費用助成(14回分) 各乳幼児健診・教室・相談および家庭訪問の実施			
意図(どのような成果を期待しているか)	妊娠期から乳幼児期までの一貫した支援体制の充実を図り、安心して子どもを産み育てられる環境づくりと母子の健康の保持増進を図る			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	母子保健法			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

活動指標	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1	こんにちは赤ちゃん	目標	100	100	100	100	
			実績	100	100	100	100	
	2	4か月児健診	目標	100	100	100	100	
			実績	99	99	98	100	

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	28,717	29,690	27,833	32,920	支出
国道支出金	774	1,052	1,024	1,024	・妊婦一般健康診査 19,861千円
地方債					・こんにちは赤ちゃん事業 2,916千円
その他	20	12	9	15	・股関節脱臼検診委託料 855千円
一般財源	27,923	28,626	26,800	31,881	・健診医師派遣負担金 660千円
人件費	13,366	13,258	12,980	12,488	・その他 3,541千円
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	2.00	2.00	2.00	2.00	
総事業費	42,083	42,948	40,813	45,408	
対前年比(%)	—	102	95	111	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	5	6	6	総事業費/受診者数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	名寄地区は地域的な特徴として転勤者が多く、母子健康手帳交付時の転勤者の割合が約5割を占め、子育てに関する相談相手がいないなど、育児が孤立化しやすい状況にある。社会的な背景から早期から支援が必要な親子が増加している。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総合計画登載事業であり、子どもが健やかに生まれ育ち、安心して子育てができるよう支援するうえで非常に重要な事業である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	妊娠期から切れ目ない母児の健康の保持増進が図られ、支援が必要な家庭には関係機関・団体との連携により、適切な支援に結びつけられる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	妊婦一般健康診査については国の少子化対策による一定の基準において実施しており、出産における負担軽減が図られている。医療機関の平均的な単価を使用しているためコスト削減は困難である。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りはないか？	a	助成単価は統一されているため適正かつ偏りはない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	ほぼ目標に達している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	妊婦一般健康診査による妊婦及び胎児の健康管理と健診にかかる費用負担の軽減が図られる。また、出産後の全戸訪問や乳幼児健診の実施により、母児の健康管理と子育て支援につながっている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	6	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	健康福祉部保健センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	親子教室【ちびっこひろば・親子ふれあいひろば】			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	1	健康の保持増進
		基本事業	2	母子保健事業の推進
		実施計画事業	2	子育てサポートの推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	親の育児不安の緩和、仲間づくりの機会をつくり、虐待予防を含めた子育て支援を行う。			
対象(何を又は誰を)	乳幼児と親			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	各ひろばの開催			
意図(どのような成果を期待しているか)	親の育児力が高められる。子育てに関する不安や悩みが早期に解決ができる。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	母子保健法			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1	ちびっこひろば(参加延人数)	目標	320	320	320	320	
			実績	260	219	312	320	
			目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	2,683	2,838	2,763	2,882	支出 ・嘱託職員報酬等 2,744千円 ・その他 19千円
国道支出金		1,112			
地方債					
その他					
一般財源	2,683	1,726	2,763	2,882	
人件費	668	663	649	624	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	3,351	3,501	3,412	3,506	
対前年比(%)	—	104	97	103	コストの算出方法
事業コスト					事業費/参加延人数
活動指標1	9	7	6	7	
活動指標2					
活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	名寄地区は地域的な特徴として転勤者が多く、母子健康手帳交付時の転勤者の割合が約5割を占め、子育てに関する相談相手がいないなど、育児が孤立化しやすい状況にある。社会的な背景から早期から支援が必要な親子が増加している。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総合計画登載事業であり、子どもが健やかに生まれ育ち、安心して子育てができるよう支援するうえで非常に重要な事業である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	親子遊びの経験や参加者の母親同士の仲間づくり、学習の場として定着しており、育児不安の緩和や発達支援・育児支援に結び付けることができる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	母子支援専門員の配置により、育児に関する個別相談などを実施することで重要な子育て支援の場となっている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	a	対象者となる親子への通知は全員に行っており、広報やホームページ等も活用し周知を行っている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	ほぼ目標に達している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	親子のスキンシップを図ることや母親同士の交流が深められ、子育てに関する情報交換、相談し合える関係づくりができ、育児力向上が図られる。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり